

## 令和元年度 事業報告書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日

### I. 概要

令和元年度の日本経済は、新たな元号を迎えるとともに東京オリンピックを翌年に控え、好ムードに期待する年度明けであったが、米中貿易摩擦によるアメリカと中国との追加関税措置の報復合戦は、為替に大きく左右される主要産業を持ち、両国に生産活動やサプライチェーンの依存度が大きいわが国にとっては、長期に及ぶ不安定要因となった。また、10月からの消費税率引き上げの影響により、民間消費、住宅投資、設備投資の国内民間需要が軒並み急速に落ち込んだ。

さらに、年明けからの新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大（パンデミック）による中国・東アジア・欧米における工場の操業停止や人の移動規制などのロックダウン政策により、世界経済はリーマンショック以来の大きな打撃を受けることになった。

建設産業は、年度前半は経年からの底堅い受注動向があったものの、人手不足の影響による労務費や材料費の高騰などが採算悪化要因として顕著になり、年度後半からは消費税増税の影響も先々の建設投資に陰るようになってきた。コンクリート圧送業界においても、震災復興事業や東京五輪関連工事の終焉、現場打ちコンクリートの減少などの様々な要因により、2019年度の生コンクリート出荷量は過去最低を記録した。

現場の労働者不足を背景とする、生産性向上策による鉄骨造やプレキャスト化などへの構造変更の増加が大きく影響し、稼働状況は低下傾向を続けているが、会員の圧送業者は、各社とも圧送技能者の処遇改善のための受注金額の向上に懸命な努力を続けている。

全圧連は、単協組織の協力のもと、圧送技能の向上と事故撲滅を図るための全国統一安全・技術講習会を始めとする各種教育を継続して推進するとともに、コンクリート圧送施工技能士や登録コンクリート圧送基幹技能者の育成、圧送工事の安全施工と品質確保に寄与する会員有資格者の優先起用を広く周知するほか、建設業における働き方改革への変化に対応するため、長時間労働の是正に業界としてどう対応するか、技能労働者の処遇改善と圧送施工における生産性向上をどう両立して実現するか等の方策を模索してきた。

また、新たな担い手を確保するための特定技能外国人の採用に向けた教育訓練プログラムの導入、外国人就労者のための安全衛生教育プログラム作りに注力を注いできた一年であった。

## II. 重点施策

1. 全圧連組織の拡大・強化
2. 適正な圧送工事原価の確保
3. 安全施工の推進と災害事故の撲滅
4. 生産性向上および作業環境・労働条件の改善
5. 若手技能者等の確保・育成
6. 有資格者の育成と技能向上、評価・活用の推進

## III. 本部事業

### 1. 諸会合の開催

#### (1) 総会

前年度の事業報告および決算承認、本年度の事業計画書（案）および予算（案）承認、理事の選任のための通常総会を1回、監事の選任のための臨時総会を1回開催した。

##### 1) 第8回通常総会 … 1. 5. 22 東海大学校友会館

- 議事：①平成30年度事業報告及び同収支決算報告、並びに  
公益目的支出計画実施報告の承認について  
②令和元年度事業計画（案）及び同収支予算（案）の承認について  
③任期満了に伴う役員改選について

##### 2) 第18回臨時総会 … 2. 1. 17 東海大学校友会館

- 議事：監事の選任について

#### (2) 理事会および代表者会議

##### 1) 第22回理事会・代表者会議 … 31. 4. 16 東海大学校友会館

- 議事：①平成30年度事業報告（案）・決算報告および  
公益支出目的計画実施報告について  
②特定技能外国人の受入れ制度および  
新法人（建設技能人材機構）への入会・協力について  
③令和元年度事業計画（案）・予算（案）について  
④建設キャリアアップシステムおよび  
技能者評価・企業能力評価への対応について  
⑤総会表彰者の選考と募集について  
⑥任期満了に伴う役員の改選について  
⑦通常総会および以降の理事会・代表者会議について  
⑧単協活動状況報告、意見交換、その他

##### 2) 臨時理事会 … 1. 5. 22 東海大学校友会館

- 議事：本部役員の選出について

##### 3) 第23回理事会・代表者会議 … 1. 10. 18 ホテル日航高知旭ロイヤル

- 議事：①職員の異動について  
②令和元年度上記事業報告、および収支報告について  
③台風による被災会員への支援金の募集について  
④賛助会員への入会申込みについて  
⑤特定技能外国人受入れ制度への対応、および現地での教育訓練・  
試験に向けた準備状況について

- ⑥表彰規程の改定について
- ⑦次年度の建設マスター・ジュニアマスター候補者の選出ブロックについて
- ⑧中流動コンクリート施工指針作成への委員選出と費用負担について
- ⑨全圧連ホームページのリニューアルについて
- ⑩若手幹部研修会への参加依頼について
- ⑪以降の理事会・代表者会議について
- ⑫意見交換、その他

4) 第24回理事会・代表者会議 … 2. 1.17 東海大学校友会館

- 議事：①役員の辞任と選任について
- ②台風被害 被災会員への支援金について
  - ③第2回全国圧送技術大会について
  - ④各種修了カードの統合化と発行手数料の改定について
  - ⑤新年度事業・予算案について
  - ⑥諸規定の改定と新設について
  - ⑦建設マスター等、および総会表彰者の推薦について
  - ⑧次回理事会および通常総会の開催について
  - ⑨単協状況報告および意見交換、その他

(3) 常務会

会長・副会長・専務理事・常務理事で構成する常務会（役員会）を5回開催、事業執行に係る以下の議事につき審議を行った。

① 第1回 … 31. 4.16 東海大学校友会館

議事：前年度事業・決算報告および新年度計画・予算審議、建設技能人材機構（新法人）への対応、役員改選、職員給与について、他

② 第2回 … 1. 5.22 東海大学校友会館

議事：通常総会の議事運営確認、東京労働局への助成金申請、特定技能外国人教育訓練・試験について、主要行事計画、他

③ 第3回 … 1. 6.27 全圧連会議室

議事：職員採用と建設技能人材機構への出向、特定技能外国人教育訓練・試験への対応、ブランディング事業協議、表彰関係改善協議、他

④ 第4回 … 1.10. 7 全圧連会議室

議事：台風15号による被災会員への支援、特定技能外国人受入への対応、若手研修会企画、日本建築学会教育賞への応募、RCエキスポ2021への協力、他

⑤ 第5回 … 2. 1.17 東海大学校友会館

議事：理事会・代表者会議および臨時総会の議事運営、以降の主要行事日程検討、他

(4) 建機工との連絡会議（トップ会） … 1.10. 7 機械振興会館

常務会（役員会）と（一社）日本建設機械工業会（建機工）のコンクリート機械部会との連絡会議を1回開催、市場動向と活動状況の報告のほか、意見交換を行った。

(5) 監事会

① 30年度期末決算指導・監査 … 30. 4. 4 および 4. 8 全圧連会議室

② 元年度中間決算指導・監査 … 1.10. 3 全圧連会議室

(6) 事務局長会議

第21回事務局長会議 … 1. 9.13 ホテルメトロポリタン長野（長野市）

議事：①全圧連からの報告・依頼事項

若手研修会参加依頼、基幹技能者更新講習および技能検定周知

②協議・意見交換

各講習会の提出書類の変更、特別教育修了証の統合化、災害発生時の全圧連・単協間連携および事務局運営、経営実態調査の回答率向上、他

(7) 第 22 回若手幹部研修会 … 1. 11. 8～ 9 マイステイズプレミア札幌パーク（札幌市）  
ホテルノースシティ（札幌）

①働き方改革関連法への実務対応

講師：NAC マネジメント研究所 所長・特定社会保険労務士 小林弘和氏

②コンクリートポンプに関する各学協会および研究の動向

講師：日本大学理工学部建築学科 教授 中田善久氏・助手 宮田敦典氏

③今ここで ここで今

講師：(株)今ここで ここで今 代表取締役・

(一社)日本ロープトレーニング協会 代表理事 鈴木秀俊氏

④意見交換会「若手幹部研修会の今後の活性化と全圧連の事業活動について」

…37 名参加

(8) 令和元年台風 15 号・19 号被災会員への支援

理事会での決議に基づき、令和元年台風 15 号・19 号により被災された会員企業 9 社（宮城 1 社、千葉 4 社、神奈川 2 社、長野 2 社）への支援金を単協に募り、被災状況に応じた配分金を送金した（10 月～1 月）。

支援金総額：620 万円

（単協・会員より 527 万円、全圧連・登録基幹技能者認定委員会より 93 万円）

(9) 職員の異動

島田 竜介 … 1. 6. 17 採用 技能人材推進役。1. 7. 1 より建設技能人材機構（JAC）へ  
出向。事業部プロジェクトリーダー

美濃辺 まさみ … 1. 9. 20 退職

（敬称略）

## IV. 委員会事業等

### 1. 経営委員会

(1) 経営革新および経営の戦略化のための事業

1) 平成 30 年度の経営実態調査結果を集計・分析。報告書の発刊に向けた掲載内容の検討作業を行った。今回調査も回答率 58.3%と半数以上の会員企業からの調査回答を得た。

2) 全圧連および圧送業界のブランド力向上に向け、ホームページのリニューアルを実施、また、SNS の活用などの協議を開始した。

3) 本年度の若手幹部研修会（11/8～9）の講師選定を行った。

(2) 取引価格の適正化に向けた事業

1) 平成 30 年度の経営実態調査結果報告書を発刊。会員および関係機関に配付するとともにホームページおよび業界紙に掲載し、業界の実態を PR した。

2) 週休 2 日制および時間外労働の削減など、「働き方改革」への対応に向けた圧送料金体系に関する協議を行った。

3) 公共建築工事の市場単価調査の掲載方法の改善要望につき協議した。

### (3) 生産性向上、作業環境および労働条件の改善、福利厚生の上昇に関する事業

- 1) ベトナム・ハノイにおける特定技能外国人の教育訓練・試験の対応につき協議するとともに、特定技能外国人を雇用する会員企業からの受入負担金の収納について協議した。  
本年度中の訓練・試験の実施は延期となったが、新年度中の実施に向け再準備する。
- 2) 建設技能労働者の処遇改善に向けた「建設キャリアアップシステム」を活用した企業の施工能力の見える化の基準作成について協議を開始した。
- 3) 「働き方改革」による建設技能労働者の処遇改善に向けた国交省や元請団体の動向を会員に周知するとともに、関連団体の諸会合に都度参画した。
- 4) 経営実態アンケート調査等を活用した年間休日数や土曜休日の設定状況、変形労働時間制の届出状況、社会保険加入状況を継続して調査するとともに、法定福利費別枠明示型の標準見積書をホームページ上で定期的に更新した。
- 5) 全圧連福祉共済制度を推進。3/31 現在、加入率 38.6%となっている。  
なお、本年度より保険料（掛金）の値下げを行っている（※加入状況は「全圧連福祉共済加入状況表」を参照）。
- 6) ポンプ車の自走事故防止・ブーム輸送管の破裂事故防止、およびポンプ車の点検・検査の徹底をテーマとした「2020 年版全圧連事故防止カレンダー」を作成。企業名印刷を募集し、3,505 部を配布した。

### (4) 全圧連組織の拡大・活性化に関する事業

山陰地区（鳥取県）の圧送協会、および高知県の圧送協会の組織拡大に向け、情報交換を行った。

### (5) 事業推進のための会議の開催

1 回の委員会および 5 回のワーキンググループ（WG）、1 回の経営・技術合同ワーキンググループ（WG）を開催した。

#### 1) 第 57 回経営委員会 … 1. 7. 19 フォーポイント バイ シェラトン函館（函館市）

議事：①令和元年度事業計画について

②経営実態調査の中間集計状況報告

③特定技能外国人材受入れ事業の進捗状況と、訓練・試験実施に向けた課題について

④外国人労働者向けの安全衛生教育教材の作成について

⑤2020 年版全圧連事故防止カレンダーについて

⑥第 22 回若手幹部研修会の開催について

⑦福祉共済制度の加入状況について

⑧全圧連および圧送業のブランディング事業について

⑨単協状況報告、意見交換、その他

#### 2) 経営委員会 WG

##### ①第 67 回会議 … 1. 5. 23 全圧連会議室

議事：新年度事業計画、特定技能外国人訓練・試験に向けた対応、建設キャリアアップシステムに伴う企業評価、建築工事市場単価（物価本）への改定要望、全圧連ブランディング事業、若手研修会企画、他

##### ②第 68 回会議 … 1. 7. 11 全圧連会議室

議事：経営実態調査の中間集計状況、特定技能外国人訓練・試験に向けた対応、2020 年版事故防止カレンダー、他

##### ③第 69 回会議 … 1. 9. 19 全圧連会議室

議事：経営実態調査報告書作成、特定技能外国人受入制度への対応、建設キャリアアップシステムに伴う企業評価基準、大規模災害を想定した全圧連・各単協にお

ける運営、建専連の施策への対応、他

④第70回会議 … 1.11.12 全圧連会議室

議事：台風被害による被災会員への支援、特定技能外国人受入への対応、経営実態調査報告書の発刊、建設キャリアアップシステムに伴う企業評価基準の動向、ホームページリニューアル、福祉共済制度の加入状況、他

⑤第71回会議 … 2. 2. 7 万国橋会議センター（横浜市）

議事：施工能力の評価基準作成の動向、働き方改革に伴う諸課題、経営実態調査票の内容修正、全圧連倫理規定（または全圧連憲章）（仮）の創設検討、福祉共済制度加入率向上策と介護保険制度の導入について、他

3) 合同WG（経営・技術）… 2. 2. 7 万国橋会議センター（横浜市）

議事：両委員会の事業報告、若手研修会の講義内容・講師選定、全国圧送技術大会、働き方改革関連法に伴う今後の圧送業の働き方について

## 2. 技術委員会

### (1) 安全施工・労働災害防止および技術・技能向上のための事業

- 1) 令和元年度の**全国統一・安全技術講習会**を、以下のカリキュラムにて全国の単協との共催により開催。会報等やホームページにより主要ゼネコン本支店に発信し、講習会修了者の優先起用をPRしている。

修了会員企業には修了証明書（企業用およびポンプ車搭載用）を発行し、ヘルメット貼付用の修了シールの配布を行っている。

20単協にて開催、372社・3,923名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。

#### [令和元年度 全国統一安全・技術講習会 統一カリキュラム]

- ①「伝えたい、点検の大切さ」～ブーム輸送管の破裂しやすい箇所、各輸送管ごとの破裂しやすい箇所～
  - ②危険の見える化 飛来・落下防止
  - ③コンクリート圧送工事における災害事故報告 2018  
他、各単協における独自プログラム
- 2) 安衛法関係法令に定める**コンクリートポンプ車特別教育**を、全国の単協との共催により開催。修了者には修了証を発行している。
- 18単協にて開催、会員144社・312名、員外22社・34名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。
- 3) 労働基準局通達に基づく**特別教育再教育**を、全国の単協との共催により開催。
- 平成29～31年度までの3年間の再教育テーマとして、「現場でのリスクアセスメントKYを身に付ける」と題した、現場でのリスクアセスメントKYの実施方法を修得するカリキュラムを実施している。なお、再教育修了者には修了証を更新し発行している。
- 11単協にて開催、101社・395名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。
- 4) 安衛則改正により義務付けられた、**足場の組立て等の特別教育**修了に対応するため、会員圧送従事者への特別教育を、本年度も継続して全国の単協との共催により開催した。修了者には全圧連より修了証を発行している。
- 9単協にて開催、68社・209名の修了となっている（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。
- 5) 安衛則改正によるフルハーネス（墜落制止用器具）の原則義務化に伴い、フルハーネス

の特別教育の全国の単協との共催により開催した。19 単協にて開催、247 社・2,173 名の修了となっている（※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照）。

- 6) 『最新コンクリートポンプ圧送マニュアル』をベースとした特別教育用教材の原案を作成し、各単協での使用を開始した。圧送マニュアルは3/31 時点で約 3,700 冊を販売している。
- 7) 厚生労働省からの委託による、外国人労働者向けの安全衛生教育リーフレット(10ヶ国語)作成するとともに、YouTube で配信する外国人労働者向けの安全衛生教育ビデオ(10ヶ国語)の撮影を行った。(令和2年度より配信予定)
- 8) 災害事故に関する情報収集に努め、重大災害については速報を配信した。
- 9) 特定自主検査者資格(事業内・検査業)の取得研修会開催・能力向上教育開催を周知し、資格取得と能力向上に向けた啓発活動を実施した。
- 10) 免許・資格証などの収納ケースである「資格証入」(昨年度リニューアル)を、単協・会員へ販売した。
- 11) 技能検定受検対策に向けて、過去の公開問題による対策資料を作成し技術委員会にて研修を実施(11/15)、併せて、検定委員に対する守秘義務についての確認を行った。  
また、中央職業能力開発協会の許諾を受け昨年度に発刊した「コンクリート圧送技能検定1級・2級過去問題集2018年度版」を販売。受検者への活用を周知した。
- 12) 登録コンクリート圧送基幹技能者の能力担保に向け、更新講習での試験結果による課題提出を実施した。
- 13) 本年度の若手幹部研修会(11/8~9)の講師選定を行った。

## (2) 圧送施工に関する調査研究・研修・広報事業

- 1) 本年度の安全・技術講習会の全国開催に向けた、技術委員を対象とした講師研修を実施した(6/25)。
- 2) 特定技能外国人受入に向け、ベトナム・ハノイでの訓練校の選定、教育訓練テキストおよび試験問題の作成、現地派遣講師の選定などにつき準備を行った。  
本年度中の訓練・試験の実施は延期となったが、新年度中の実施に向け再準備する。
- 3) 建設キャリアアップシステム導入に伴う「コンクリート圧送技能者能力評価基準」を策定し、国土交通省の認可を得た(2/5)  
選考して能力評価を実施する、登録基幹技能者制度を運営する35職種・50団体で組織する「建設技能者能力評価制度推進協議会」に参画し、新年度からの能力評価を行う。
- 4) ブーム先に接続する機材の種類・長さを規定したJIS A 8612の実務上の課題点や、事故の実態、各種先送り材の使用実態に関する、日本大学理工学部建築学科のアンケート調査に協力した(10~11月)。
- 5) 生コン工場や現場環境の違いによる先端ホースの径の選定に関するアンケート調査を、技術委員を中心に実施した(11~12月)。
- 6) ホッパ内の残コンクリート改良剤「TERA(テラ)」の委託販売を継続実施した。
- 7) 第2回全国圧送技術大会の開催に向けた協議を開始。大会委員の選任と委嘱、後援団体への協力依頼を行った。

## 第2回全国圧送技術大会 大会委員会

### [組織委員会]

委員長：長谷川員典(全圧連会長)

幹事：佐藤隆彦(同副会長・経営委員長) 土井豊実(同副会長)

早水久司(同常務理事) 田中徹(同常務理事・技術委員長)

委員：十河茂幸(近未来コンクリート研究会) 和美廣喜(島根大学名誉教授)

栗田守朗(清水建設㈱) 岩清水隆(㈱竹中工務店) 黒岩秀介(大成建設㈱)

平田隆祥(㈱大林組) 山崎順二(㈱浅沼組) 杉山隆文(北海道大学)

久田真(東北大学) 宮里心一(金沢工業大学) 中村光(名古屋大学)

熊野知司（摂南大学） 中村成春（大阪工業大学） 橋本親典（徳島大学）  
濱田秀則（九州大学） 鶴田達哉（全国生コンクリート工業組合連合会）  
玉石竜介（コンクリート用化学混和剤協会・花王㈱）  
谷口円（北方建築総合研究所） 永山勝（日本建築総合試験所）  
木村芳幹（㈱コンステック）（敬称略・順不同）

**〔実行委員会〕**

委員長： 田中徹（全圧連技術委員長・神奈川）  
副委員長： 住井次郎（同技術副委員長・東海） 吉田兼治（同技術副委員長・山形）  
幹事： 岩永健二（同技術委員・九州） 高野博（同技術委員・千葉）  
宮田敦典（日本大学）  
委員： 岸貴典（全圧連技術委員・群馬） 久貝豊（同技術委員・埼玉）  
永田哲夫（同技術委員・近畿） 柳井修司（鹿島建設㈱）  
岩田康彦（日本建設機械工業会・㈱岩田商会）  
西本茂治（全圧連事務局次長）（敬称略・順不同）

**〔審査・表彰委員会〕**

委員長： 陣内浩（東京工芸大学）  
幹事： 中田善久（日本大学） 鈴木澄江（工学院大学）  
住井次郎（全圧連技術副委員長・東海）  
委員： 桜井邦昭（㈱大林組） 神代泰道（㈱大林組） 浦野真次（清水建設㈱）  
南浩輔（前田建設工業㈱） 渡邊有寿（鹿島建設㈱） 檜垣誠（㈱フローリック）  
小泉信一（BASF ジャパン㈱） 太田達見（静岡理工科大学）  
大塚秀三（ものづくり大学） 橋本紳一郎（千葉工業大学）  
温品達也（徳山工業高等専門学校） 北口延郎（全圧連専務理事）  
（敬称略・順不同）

キックオフ会議 … 1. 11. 25 全圧連会議室  
第1回実行委員会 … 2. 2. 28 日本大学理工学部

**(3) 関係諸機関との連携協力**

- 1) **日本建設機械工業会（建機工）** ……ポンプ車の安全対策・事故情報に関する情報交換を行うとともに、登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会、第2回全国圧送技術大会実行委員会への委員参画を得ている。
- 2) **建設荷役車両安全技術協会（建荷協）** ……特自検有資格者の能力向上と資格取得 PR に協力している。
- 3) **日本建築学会**…CFT 施工指針改訂委員会への委員選出、各種工事仕様書の改訂講習会に協賛するとともに、『最新コンクリートポンプ圧送マニュアル』の発刊と教育活動を、2020年の日本建築学会教育賞（教育貢献）候補として応募した。

**充填鋼管コンクリート研究小委員会（CFT 施工指針改訂委員会）**

全圧連選出委員： 篠原伊久夫（千葉、有土井企業）（敬称略）  
第21回委員会 … 1. 5. 24 建築会館  
第22回委員会 … 1. 8. 2 〃  
第23回委員会 … 1. 10. 4 〃  
第24回委員会 … 1. 12. 6 〃

- 4) **土木学会**…中流動コンクリートの配合設計・施工指針策定への委員選出を行った。新年度より委員会に参画する。

（仮称）締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・製造・施工に関する



### 研究小委員会

全圧連選出委員：田中徹（神奈川、(株)横浜協立）

（敬称略）

- 5) 日本コンクリート工学会（JCI）…「コンクリート圧送技術調査委員会」報告会に参画するとともに、新たに設置された「コンクリート圧送工法指針原案作成委員会」に参画している。

#### コンクリート圧送技術調査委員会 報告会

全圧連選出委員：吉田兼治（山形、(株)ヤマコン）、北口延郎（全圧連）

（敬称略）

1. 6. 19 建設交流館 グリーンホール（大阪）  
1. 6. 26 品川区総合文化会館 きゅりあん小ホール（東京）

#### コンクリート圧送工法指針原案作成委員会

全圧連選出委員：吉田兼治（山形、(株)ヤマコン）、北口延郎（全圧連）

（敬称略）

- 第1回全体会議 … 1. 5. 29 JCI 会議室  
第2回全体会議 … 1. 8. 20 〃  
第1回WG2会議 … 1. 10. 3 〃  
第1回WG1会議 … 1. 10. 29 〃  
第2回WG2会議 … 1. 12. 20 〃  
第2回WG1会議 … 2. 1. 20 〃

- 6) 中央職業能力開発協会（能開協）…コンクリート圧送施工技能検定の試験問題作成を担当する中央技能検定委員の全圧連からの業界委員として以下の4名を推薦し選出している。

#### 中央技能検定委員

- ① コンクリート圧送施工1級・2級

吉田兼治（山形、(株)ヤマコン） 庭野祐逸（埼玉、(有)三進圧送）  
山口次郎（神奈川、(株)北斗工業） 堀之内正樹（東海、(株)タニケン）

- ② コンクリート圧送施工基礎級

吉田兼治（山形、(株)ヤマコン） 山口次郎（神奈川、(株)北斗工業）

（敬称略、順不同）

#### [1級・2級]

- 第1回委員会 … 1. 5. 9 中央職業能力開発協会  
第2回委員会 … 1. 6. 6 〃  
第3回委員会 … 1. 7. 4 〃  
第4回委員会 … 1. 7. 26 〃  
第5回委員会 … 1. 8. 21 〃  
第6回委員会 … 1. 9. 12 〃  
第7回委員会 … 1. 10. 11 〃

#### [基礎級]

- 第1回委員会 … 1. 5. 16 〃  
第2回委員会 … 1. 6. 24 〃  
第3回委員会 … 1. 10. 4 〃

- 7) 全国生コンクリート工業組合連合会（全生連）…東北地区本部の新技术普及講習会に、技術委員会執行部が講師として参加し、圧送業界から見た生コンクリートの品質と最近の圧送施工技術に関する講義を行った。

全生連東北地区本部 新技术普及講習会 … 2. 2. 6 ホテル白萩（仙台市）

#### (4) 会議の開催

2回の委員会および5回のワーキンググループ（WG）（1回の現場視察を含む）、1回の経営・技術合同ワーキンググループ（WG）を開催した。

##### 1) 第65回技術委員会 … 1. 6. 15 AP品川（東京）

議事：①技術委員会事業計画について

- ②本年度の安全・技術講習会カリキュラムについて（講師研修）
- ③安全講習会および特別教育の事務手続き・修了証の変更について
- ④圧送マニュアルによる特別教育カリキュラムの作成について
- ⑤特定技能1号（外国人）評価試験等への対応について
- ⑥外国人技能者への教育用資料の作成について（厚労省）
- ⑦建設キャリアアップシステムに伴う技能者の能力評価基準等の策定について
- ⑧次回本委員会とJCI圧送技術調査報告会について
- ⑨その他

##### 2) 第66回技術委員会 … 1. 11. 15 山形グランドホテル（山形市）

議事：①令和元年度 技能検定対策について

- ②特定技能外国人受入制度への対応について
- ③建設キャリアアップシステムに伴う能力評価基準の策定について
- ④各種特別教育修了証カードの統合化と発行料設定について
- ⑤新年度からの安全講習会・特別再教育の講習テーマについて
- ⑥『最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル』の販売状況と増刷について
- ⑦中流動コンクリート施工指針への委員参画について
- ⑧第2回全国圧送技術大会、およびRCエキスポ2021（仮称）
- ⑨先端ホースの径に関するアンケートについて
- ⑩JIS A 8612の改定要望等に向けたアンケートについて
- ⑪意見交換、その他

講演：「圧送のあゆみ」

講師 佐藤勝彦氏（全圧連相談役）

##### 2) 技術委員会 WG

###### ①第58回会議 … 31. 4. 19 全圧連会議室

議事：新年度事業計画、安全・技術講習会カリキュラム、圧送マニュアルによる特別教育教材、建設キャリアアップシステムにおける能力評価基準、特定技能外国人訓練・試験への対応、他

###### ②第59回会議 … 1. 6. 5 全圧連会議室

議事：安全・技術講習会カリキュラム、建設キャリアアップシステムにおける能力評価基準、特定技能外国人訓練・試験への対応、外国人向け安全衛生資料作成、事故防止カレンダー作成、若手研修会企画、他

###### ③第60回会議 … 1. 9. 18 全圧連会議室

議事：特定技能外国人訓練・試験への対応、外国人向け安全衛生資料作成、各種特別教育修了証の統合カード化、次年度の各種講習カリキュラム、圧送技術大会、他

###### ④第61回会議 … 1. 11. 14～15 石巻グランドホテル（石巻市）

議事：特定技能外国人教育訓練テキストおよび技能試験問題案、厚労省の外国人向け安全ビデオ教材の作成成、全国圧送技術大会、他

ディストリビュータ施工現場視察 … 1. 11. 15 石巻市内

⑤第 62 回会議 … 2. 2. 7 万国橋会議センター（横浜市）

議事：外国人労働者向け安全衛生教育教材の作成状況、特定技能外国人教育訓練・試験の延期と各国との調整状況、統合型特別教育修了証デザイン、次年度講習会カリキュラム、圧送技術大会の開催テーマ等、圧送技能評価基準の策定と評価の実施、先送り材の標準化、次年度事業計画、他

3) 合同 WG（経営・技術）… 2. 2. 7 万国橋会議センター（横浜市）

議事：両委員会の事業報告、若手研修会の講義内容・講師選定、全国圧送技術大会、働き方改革関連法に伴う今後の圧送業の働き方について

3. 登録コンクリート圧送基幹技能者の育成

1) 令和元年度の登録コンクリート圧送基幹技能者 登録講習・試験を実施。

… 1. 8. 24～27 富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）（最終日の試験のみ東京一日本大学理工学部で同時実施）にて実施。

受講・受験申込者数：67名 合格者数：40名 合格率：59.7%

2) 令和元年度の登録コンクリート圧送基幹技能者 更新講習の実施を準備。

… 第 1 回目 1. 10. 5 日本大学理工学部（東京）… 35 名受講

… 第 2 回目 1. 10. 12 CIVI 研修センター新大阪東（大阪）… 26 名受講

… 第 3 回目 1. 10. 26 リファレンス駅東ビル（福岡）… 62 名受講

… 第 4 回目 1. 12. 22 CIVI 研修センター新大阪東（大阪）… 29 名受講

（※第 4 回目は、台風 19 号の影響による追加）

3) 登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会を計 6 回、幹事会を 1 回開催、講習テキストおよび試験問題の作成、講習運営、合否判定などに関する審議が行われた。

登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会

委員長： 栗田守朗（清水建設株）

副委員長： 中田善久（日本大学）

委員： 鈴木澄江（建材試験センター）、陣内浩（東京工芸大学）

柳井修司（鹿島建設株）、道塚勝也（株加藤製作所）

田中徹（全圧連）、住井次郎（全圧連）

顧問： 十河茂幸（近未来コンクリート研究会）、和美廣喜（島根大学）

（敬称略、順不同）

① 第 1 回 … 31. 4. 20 全圧連会議室

② 第 2 回 … 1. 5. 25 ”

③ 第 3 回 … 1. 7. 6 ”

④ 幹事会 … 1. 7. 23 ”

⑤ 第 4 回 … 1. 8. 9 ”

⑥ 第 5 回 … 1. 9. 15 ”

⑦ 第 6 回 … 2. 1. 6 ”

4) 登録基幹技能者制度を運営する専門工事業団体で組織する「登録基幹技能者制度推進協議会」に参画し、登録基幹技能者の評価・起用の向上に向けた広報および要望活動を他団体と連携して推進した。

4. 優秀技能者等の表彰

1) 第 8 回通常総会において、全圧連表彰規定に基づく優秀従業員等表彰を実施。

… 1. 5. 22 東海大学校友会館

① 優秀従業員表彰 1 名

- ② 特別表彰（建設マスターおよびジュニアマスター候補者） 5名
- ③ 全圧連顕彰（日本大学理工学部建築学科教授 中田善久氏） 1名

2) 令和元年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）候補者3名、優秀青年施工者土地・建設産業局長顕彰（建設ジュニアマスター）候補者2名を国土交通省に推薦。全員の受賞が決定し、顕彰式典が行われた

顕彰式典 … 1.10.11 メルパルクホール（東京）。

- ① 建設マスター候補者 3名  
加藤栄司 (株)旭川生コンサービス（北海道）  
佐々木重光 山孝建材(株)（宮城）  
井浦之充 (株)高見澤（長野） (敬称略、順不同)
- ② 建設ジュニアマスター候補者 2名  
上田益生 近圧ポンプ(株)（近畿）  
井戸川義晃 栄和工業(有)（九州） (敬称略、順不同)

4) 令和2年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）候補者3名、優秀青年施工者土地・建設産業局長顕彰（建設ジュニアマスター）候補者2名を、理事会承認を経て国土交通省に推薦した。

- ① 建設マスター候補者 3名  
長榮強 (株)愛幸建設（山陰）  
足利圭二 (株)三律（高知）  
豊村美樹彦 (有)丸建圧送（九州） (敬称略、順不同)
- ② 建設ジュニアマスター候補者 2名  
郷原倫明 (株)IZUDA（島根）  
鍋島愛徒 (有)高知打設（高知） (敬称略、順不同)

## 5. 広報活動の推進

- 1) 全圧連会報第57号（8月）、58号（12月）を発行。会員・賛助会員のほか、元請団体や主要ゼネコン本支店に配布し、業界の取り組みのPRに努めた。
- 2) 全圧連ホームページをリニューアル。会員および対外関係先への情報発信、PRを行った。
- 3) 通常総会に併せて「圧送業界特集」を業界紙に掲載、業界の活動成果と将来の課題に関する業界誌等への記事寄稿、プレスリリースを実施した。
- 4) セメント新聞社『月刊コンクリートテクノ』3月号の「圧送性を考える」特集に参加、業界の課題と生産性向上に向けた工法の改善に向けた記事寄稿を実施した。

## 6. 関係官公庁・学会・団体との連携協力

### 1) 国土交通省

各種施策に関する周知・調査協力、情報配信のほか、特定技能外国人受入れに係る諸会議、現地訓練校の視察に参画し、受入れ事業を共同で行う新法人「(一社)建設技能人材機構」の設立会員として協力を行った。

また、建設キャリアアップシステムに伴う圧送技能者の能力評価基準を策定し、認可を得た。

- ① 社会保険推進連絡協議会 … 1. 5. 15 都道府県会館
- ② 公共工事労務費調査説明会 … 1. 7. 29 経済産業省別館
- ③ 特定技能外国人受入れに関する会議
  - ・ 特定技能外国人受入れに関するワーキンググループ
  - 第4回 … 31. 4. 17 国土交通省

- 第5回 … 1. 6.11 国土交通省
- ・建設分野特定技能に係る試験実施検討チーム
- 第1回 … 1. 6.11 国土交通省
- 第2回 … 1. 7.11 建設技能人材機構
- ・建設分野特定技能に係る試験委員会
- 第1回 … 1.10.31 国土交通省
- 第2回 … 2. 1.24 国土交通省
- ・ベトナム訓練校視察 … 1. 6.24～26 ベトナム・ハノイ
- ・外国人材活用セミナー … 1. 6.24 浜離宮建設プラザ
- ④技能者の能力評価に関する会議
- ・圧送技能者能力評価基準ヒアリング … 1. 9.11 国土交通省
- ・建設技能者の能力評価実施に向けた検討会 … 1.10.18 建設業振興基金
- ・能力評価に係る協議会発足準備会 … 2. 2.27 建設業振興基金

## 2) 厚生労働省・労働局

労働災害防止策、雇用管理責任者研修、働き方改革に関連する施策の周知・情報配信に努めるとともに、「人材確保等支援助成金」を受給申請し、圧送従事者の確保・育成に資する事業活動に活用するほか、登録基幹技能者の講習受講者に対して、同助成金の受給のための事務手続き支援を行った。

また、外国人労働者向けの安全衛生教育資料の作成会議にも参画するほか、建設・港湾対策室幹部と、働き方改革に伴う業界の諸問題に関するヒアリングを実施した。

### ①外国人安全衛生教育教材作成

- ・検討会議 … 1. 7.25 東京建設会館
- ・外国人安全衛生教育テキスト作成分科会 … 1.10.17 労働調査会
- ・外国人安全衛生教育ビデオ作成会議 … 1.11.27～28 全圧連会議室
- ・外国人安全衛生教育ビデオ撮影 … 1.12.14 (株)横浜協立

### ②建設・港湾対策室との働き方改革に関するヒアリング … 1.12. 3 全圧連会議室

## 3) 経済産業省・中小企業庁・全国中小企業団体中央会

各種中小企業向け支援策の情報収集、周知・提供を行うほか、各種研修会に参加。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保証制度「セーフティーネット5号」対象を検討する売上状況の緊急調査・報告を行い、追加業種指定を受けた。

## 4) 建設産業専門団体連合会（建専連）

役員団体として理事会、企画委員会、総務部会などへ参加し、業種横断的な専門工事業界の諸課題改善に向けた活動に参画、各種調査に協力するほか、国交省本省および地方整備局との意見交換会への参画を行った。

また、令和3年秋の開催を予定する「RC エキスポ 2021（仮称）」の実行委員会にも参画している。

### ①総会

- ・第18回通常総会 … 1. 6.13 東海大学校友会館
- ・臨時総会 … 1. 6.21 書面決議

### ②全国大会 … 1.11.13 ニッショーホール

### ③理事会

- ・第1回理事会 … 1. 6.13 東海大学校友会館
- ・第2回理事会 … 1. 6.21 書面決議
- ・第3回理事会 … 1. 9.19 建設業振興基金

- ・第4回理事会 … 1. 12. 4 建設業振興基金
- ・第5回理事会 … 2. 3. 23 建設業振興基金
- ④企画委員会
  - ・第1回 … 1. 8. 19 建設業振興基金
  - ・第2回 … 1. 10. 15 //
  - ・第3回 … 1. 12. 3 //
  - ・第4回 … 2. 1. 23 //
  - ・第1回専門部会（グループC・機械系） … 2. 2. 12 建設業振興基金
- ⑤総務部会
  - ・第1回 … 1. 5. 14 建設業振興基金
  - ・第2回 … 1. 9. 12 建設業振興基金
  - ・第3回 … 1. 11. 27 建設業振興基金
- ⑥事務局長会議
  - ・第1回 … 1. 9. 2 建設業振興基金
  - ・第2回 … 2. 2. 26 建設業振興基金
- ⑦RC エキスポ 2021（仮称）実行委員会
  - ・第1回 … 1. 12. 3 建設業振興基金
  - ・第2回 … 2. 1. 20 建設業振興基金
  - ・第3回 … 2. 3. 16 幕張メッセ
- ⑧振興基金理事長と建専連会長・副会長との意見交換会 …1. 6. 4 新橋
- ⑨国交省建設市場整備課と建専連会員若手経営者との意見交換会  
…2. 2. 19 国土交通省
- ⑩国交省本省および地方整備局との意見交換会（全圧連本部参加分のみ）
  - ・北陸 … 1. 6. 17 新潟グランドホテル
  - ・九州 … 1. 6. 28 TKP ガーデンシティ博多新幹線口
  - ・北海道 … 1. 7. 4 札幌第一ホテル
  - ・中国 … 1. 7. 12 メルパルク広島
  - ・近畿 … 1. 7. 16 シティプラザ大阪
  - ・中部 … 1. 7. 19 ホテル名古屋ガーデンパレス
  - ・本省 … 1. 7. 31 東海大学校友会館

#### 5) 日本建設機械工業会（建機工）

常務会との連絡会議を始めとし、ポンプ車の安全対策に関する情報交換を行うとともに、圧送マニュアルや登録基幹技能者講習テキスト等、全圧連の刊行物へ掲載する技術情報の提供依頼、登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会への委員参画を得ている。

#### 6) 建設荷役車両安全技術協会（建荷協）

特自検有資格者の能力向上と資格取得 PR に協力するとともに、圧送マニュアルへの情報提供依頼、特自検の検査者資格の事業主等への緩和拡充を要請している。

#### 7) 建設業振興基金

建設産業活性化助成金を申請し、経営実態調査・「建設キャリアアップシステム」に関連した「技能者の能力評価」「専門工事企業の施工能力の見える化」の基準作成会議に活用するほか、「登録基幹技能者制度推進協議会」に参画し、登録基幹技能者の評価・活用に向けた活動に協力して取り組んでいる。

また、「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」に委員として参画し、圧送業の「職業能力評価基準」のフォローアップなどの教育訓練等基盤の充実・強化にも協力している。

①登録基幹者制度推進協議会

- ・年次総会 … 1. 5. 28 東海大学校友会館
- ・事務局長会議 … 2. 2. 13 建設業振興基金

②担い手確保・育成に関する事業説明会 … 1. 7. 4 建設業振興基金

③建設産業担い手確保・育成コンソーシアム成果報告会 … 1. 12. 9 東海大学校友会館

8) 日本建設機械施工協会（建機協）

建設機械施工の業界団体で構成する専門部会へ参画し、建設機械に関する税制改正要望を共同で行うほか、ブーム先に接続する機材の種類・長さを規定した JIS A 8612 の改定を同会の標準部およびコンクリート機械技術委員会に要望し、情報収集に努めている。

9) 富士教育訓練センター

諸会議に参加。登録コンクリート圧送基幹技能者の登録講習会場設営・講師派遣に協力を得るほか、Web ラーニング教材である建設技能トレーニングプログラム（建トレ）に協力している。

①通常総会 … 1. 5. 20 東海大学校友会館

①事務局長会議 … 1. 10. 23 東京躯体会館

10) 勤労者退職金共済機構（勤退共）

退職金共済制度（建退共）の周知、ホームページや会報を活用した PR 活動への協力を行った。

①建退共 加入促進連絡会議 … 1. 10. 4 AP 東京八重洲通り

11) 建設技能人材機構（JAC）

特定技能外国人受入れ事業を共同で行う同法人の設立会員として加盟。事務局職員 1 名を出向させ、ベトナムでの教育訓練・試験の実施に向けた準備に努めている。なお、9/3 より理事団体となった。

- ・第 1 回総会 … 31. 4. 1 機械振興会館（東京）
- ・11 職種技能試験担当者連絡会 … 1. 5. 10 建設業振興基金
- ・事務局長等会議 … 1. 7. 17 建設技能人材機構
- ・都市建設短期大学（ハノイ）インターネット会議 … 1. 8. 28 建設技能人材機構
- ・臨時総会 … 1. 9. 3 建設技能人材機構
- ・第 4 回理事会 … 2. 3. 3 建設技能人材機構

令和元年度 講習会受講者内訳表

令和2年3月31日現在

単協名	安全・技術講習会		安衛法に基づく特別教育				特別教育再教育		足場の業務に係る特別教育		フルハーネス特別教育	
			会 員		会 員 外							
	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数
北海道			10	17			12	20	8	11	9	12
青 森	6	37										
秋 田	5	35	2	5			3	9			5	34
岩 手	8	82	2	5							6	64
山 形	12	94	4	14	1	4					13	115
宮 城	14	140	4	8			1	1	11	34	13	138
福 島	16	149	4	6							9	106
茨 城	9	90	5	7	3	3					7	68
栃 木	10	42									7	11
群 馬	9	134	5	7							8	43
埼 玉	21	222			1	2	7	45	3	10	14	152
千 葉	21	291	4	10	4	6						
東 京	23	321	7	13	4	6			14	51	20	249
神奈川	25	461	15	44	8	12	5	8				
長 野	12	71							12	53	12	53
静 岡	14	80	3	6								
東 海	32	317					17	110	1	1	12	67
富 山	3	36					2	3			2	21
福 井									1	7	1	21
近 畿	51	566	38	63			26	81	17	41	65	736
広 島	12	98	4	9			8	60			10	67
山 陰			1	10	1	1						
島 根	5	29	1	4			4	19	1	1	1	1
山 口												
高 知												
九 州	64	628	35	84			16	39			33	215
合 計	372	3,923	144	312	22	34	101	395	68	209	247	2,173

※前年同期 (437) (4,607) (156) (354) (40) (69) (237) (1,840) (46) (126) (139) (1,334)



## 令和元年度 福祉共済事業報告書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日

### 1. 概況 令和2年3月31日現在 ( )内は平成31年3月31日

・加入単協数	21単協	(21単協)
・加入社数	177社	(182社)
・加入者数	1,326人	(1,350人)
・加入口数	2,361口	(2,392口)

### 2. 保険金給付状況 平成30年12月1日～令和元年11月30日

(1) 死亡・高度障害保険金	0件	0円
(2) 災害死亡給付金	0件	0円
(3) 入院給付金	5件	526,500円
(4) 障害給付金	0件	0円
合 計	5件	526,500円

### 3. 通院入院見舞金 平成31年4月1日～令和2年3月31日

5件 60,000円

### 4. 制度運営費(各単協宛還付金)

平成31年4月～令和元年6月	287,000円
令和元年7月～9月	290,560円
令和元年10月～12月	292,120円
令和2年1月～3月	283,480円
計	1,153,160円

### 5. 配当金 平成30年12月1日～令和元年11月30日

・年間掛金	21,298,351円
・配当金	11,522,929円
・配当率	54.1%

## 全圧連福祉共済加入状況表

令和2年3月31日現在

単協名	会員数 (3/31現在)	加入数			加入率(%)	目標口数	目標口数 達成率(%)
		社数	人数	口数			
北海道	30	3	24	24	10.0%	191	12.6%
青森	6	0	0	0	0.0%	35	0.0%
秋田	5	1	12	12	20.0%	28	42.9%
岩手	8	3	33	131	37.5%	77	170.1%
山形	13	13	131	131	100.0%	93	140.9%
宮城	16	5	42	164	31.3%	148	110.8%
福島	17	4	9	22	23.5%	161	13.7%
茨城	9	7	84	190	77.8%	93	204.3%
栃木	10	2	20	40	20.0%	72	55.6%
群馬	9	7	68	136	77.8%	136	100.0%
埼玉	19	7	65	79	36.8%	219	36.1%
千葉	21	5	14	22	23.8%	282	7.8%
東京	24	8	95	184	33.3%	335	54.9%
神奈川	27	9	97	256	33.3%	478	53.6%
長野	12	4	24	35	33.3%	74	47.3%
静岡	15	0	0	0	0.0%	86	0.0%
東海	36	33	307	363	91.7%	337	107.7%
富山	3	0	0	0	0.0%	36	0.0%
福井	3	0	0	0	0.0%	42	0.0%
近畿	65	35	138	177	53.8%	700	25.3%
広島	15	1	6	18	6.7%	82	22.0%
山陰	1	0	0	0	0.0%	21	0.0%
島根	5	3	20	73	60.0%	30	243.3%
山口	3	1	21	90	33.3%	34	264.7%
高知	8	1	12	12	12.5%	53	22.6%
九州	78	25	104	209	32.1%	634	33.0%
事務局		(1)	(4)	(12)			
合計	458	177	1,326	2,368	38.6%	4,477	52.9%

※目標口数の算出方法：

①前年度の安全・技術講習会の受講者数×1口

②安全・技術講習会の開催のない単協においては、保有ポンプ台数×2口